

「令和2年ダイヤ改正の行路・交番」提示される！

1月10日、会社から「令和2年ダイヤ改正の行路・交番」の提示を受ける。

(1) ダイヤ改正の主な特徴

3月のダイヤ改正では、東海道新幹線の全列車と最高速度285km/hのN700Aタイプに統一することにより、「のぞみ」の東京～新大阪間の平均到達時分は、4分短縮されて「2時間29分」となる。

(2) 行路・交番作成方式及び考え方

安全に仕事を進める力、良いサービスを提供する力、効率的に仕事を進める力を高める、という3つの面から「仕事を進める力」を高め、「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という私たちの使命をより高いレベルで実現するため、乗務員需給を考慮し、就業規則・乗務割交番作成規程などの規程に則り諸条件「出退時刻、食事、睡眠時間等」を考慮して作成した。

『行路』

- ① 列車速達化等、「のぞみ」12本ダイヤに対応した行路を作成。
- ② 運輸所間での偏りを最大限に抑えるべく、労働時間等の諸条件を極力平準化。
- ③ 運転士養成を考慮し、短回のみ行路を最大限確保すると共に、泊地・行き先地をバランス良く配分。
- ④ 効率的かつ効果的な短区間巡回行路・特改の設定。
- ⑤ 入出庫付一丁半行路を増加させる等、乗務効率を考慮した行路の作成。

『交番』

- ① 例年通り、年間を通じて休日を円滑に付与するために「乗務又は休日」を交番内に指定した。
- ② 「短区間巡回担当」の行路は、引き続き交番内に組み込んだ。
- ③ 交番周期については、引き続き全所全組で17日周期に統一した。

時間短縮に伴う一丁半行路の増加！

運転士の大井泊での睡眠時間の短縮！

仕事はきつくなるばかり！ これで安全が確保できるのか！